

様式2（第3の6関係）

会議の概要

1 会議名 (審議会等名)	平成29年度(2017年度)第1回宝塚市きずなづくり推進事業審査会
2 開催日時	平成29年(2017年)6月13日(火)18時00分～20時00分
3 開催場所	市役所3階 3-3会議室
4 出席委員	委員5名:和田委員、川端委員、小西委員、佐藤委員、岩崎委員
5 公開不可・一部不可の場合の理由	宝塚市情報公開条例第7条第1項第5号に該当する内容が審議されるため公開不可
6 傍聴者数	—
7 公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可
8 議題及び結果の概要	<p>(1)開会 第1回宝塚市きずなづくり推進事業審査会の開催。 事務局から、委員総数が5名、出席委員数が5名であり、宝塚市きずなづくり推進事業審査会規則第5条2項に規定する過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立することを報告した。</p> <p>(2)委嘱状の交付 中西部長より、委員各位へ委嘱状を交付した。</p> <p>(3)会長・会長職務代理者の選任について 会長として和田委員、会長職務代理者として川端委員が選任された。</p> <p>(4)応募状況の報告 事務局より、地域密着型事業に4件、自由提案型事業に4件、行政提案型5テーマに対し8件の応募があったことを報告した。</p> <p>(5)申請に係る団体の資格要件及び補助対象事業の要件に係る審査 事務局より、今年度の応募団体が要件を満たしていることを報告した。</p> <p>(6)地域密着型事業の審査基準について 事務局より、審査基準について説明を行った。</p> <p>(7)地域密着型事業の審査 ア 申請のあった4団体の事業についてそれぞれ事務局から説明を行った後、下記のとおり意見等があった。 【災害時一人も見逃さない、要援護者の実態調査と要援護者リスト作成】 (ア) 第5地区(長尾地区)ではすでにできあがっているものを全市的に広めるという理解でよいか。 (イ) 地域内の要援護者の把握や、具体的な避難支援計画</p>

の作成は、なかなか進まない。まちづくり協議会などが手を挙げないと、行政も働きかけができない。今回は民生委員が中心となって進めていくために手を挙げられたのではないか。

(ウ) 全市的な取り組みなので、地域密着型ではなく、行政提案型で応募されてはどうか。また、持ち出しが多いので、行政がもっと応援してはどうか。

(エ) 将来、全市的に進めていくためのきっかけとして今回応募されているのではないか。

(オ) 突破口として大変ありがたい事業である。

(カ) 集めてきた要支援者のリストを、どう集め、保管し活用していくのが重要となる。

**【趣味サークルで「仲間づくり」】**

(キ) 事業内容は新たに始めるものではなく、既存事業である。また、この事業を契機に何が変わるのか。計上事業の維持経費を補てんするということか。従来と異なる事業を考案いただきたかった。

(ク) 中山五月台中学校の生徒が参加できるような仕組みづくりを行っていることは評価できる。周辺小学校の生徒にも参加いただいてはどうか。

(ケ) 次年度に向けて、計画の練り直しをお願いしたい。

**【地域公共交通「RUNRUN バス」が将来にわたり運航していくための事業】**

(ケ) 利用者を増やすためのPRだけではなく、「私たちの地域でもできたからあなたの地域でもやりませんか。」というような外向きな発信になるとありがたい。

(コ) 第一小学校の夏祭りで宣伝するだけでなく、RUNRUNバスを守る会の中心となる5自治会の地域住民が利用したくなるような、宣伝の仕方が必要ではないか。

(カ) 成功事例があると、他の地域でも取組が始まるきっかけになるのではないか。

(シ) 次につながるステップとしての意識的な調査を行ってはどうか。

**【あつまれ笑顔第29回納涼のつどい】**

(ス) 第29回とのことだが、何か特別なことが行われるのか。

(セ) 介護と医療（健康チェック等）が今年度新しく設けられている。

(ソ) すでに事業が確立化されているように感じる。完成度の高い素晴らしい事業である。

(タ) 申請額の50,000円がどこで活用されるのか見えない。

イ 以上の意見等を踏まえ、採点を行った。採点后、【趣

味サークルで「仲間づくり】及び【あつまれ笑顔第 29 回納涼のつどい】は最低必要点数を下回っていたので、不採択とし、【災害時一人も見逃さない、要援護者の実態調査と要援護者リスト作成】及び【地域公共交通「RUNRUN バス」が将来にわたり運航していくための事業】については、最低必要点数を上回っていたので採択とし、補助金額は申請額と同額とした。

(8)平成 28 年度の採択事業の結果評価

事務局より、平成 28 年度の採択事業の結果について報告を行った。

(9)公開事業説明会について

6 月 18 日（日）の集合時間等について事務局より説明を行った。

(10)閉会